インドによる地下核実験について

平成10年５月12日
国際協力・保障措置課

インド政府発表によると、概要以下のとおり。

１．日　　時：５月１１日（月）１５：４５（日本時間同日１９：１５）
２．場　　所：ポカラン（ニューデリー南西約５３０ｋｍの砂漠地帯）
３．実験概要：３つの地下核実験（核分裂装置、低爆発力装置、熱核装置）
　　　　　　　計測によると大気への放射能漏れはないとのこと。

（参考）
（１）1974年に平和利用目的とする地下核実験を実施
（２）ＮＰＴ未加盟、ＣＴＢＴも未調印
（３）ＩＡＥＡとは、INFCIRC66タイプの保障措置協定を締結
（４）1956年にアジアで最初の原子炉（軽水炉、１MWt）を運転開始
　　　1995年末現在の原子力発電所　運転中　１０基　１８５万Kw
　　　　　　　　　　　　　　　　　建設中　　６基　１８８万Kw
　　　　　　　　　　　　　　　　　計画中　　６基　１８８万kw

5/12 午後 プレス発表済

官房長官コメント

平成１０年５月１２日

１．１１日午後、バジパイ・インド首相が地下核実験を実施した旨発表したが、我が国を含む国際社会がインド新政権に対し再三に亘り核政策における最大限の自制を求めてきた中で、インドが世界的核実験禁止の流れに逆行してこのような実験を行ったことは極めて遺憾である。我が国としてはインドが早急に核開発を停止することを強く求める。また、今回のインドの核実験により地域の安定が害されないよう地域の全ての関係国に対し自制を呼びかけたい。

２．我が国は本日東京に於いては小渕外務大臣から在京インド大使を招致する予定である。また、ニューデリーにおいては１１日午後インド政府ハイレベルに対して平林在インド大使よりこの趣旨の申し入れを既に行ったところである。

（了）